

第76回企画委員会の開催

11月1日(金)に第76回企画委員会がWebEXによるリモートで開催されました。今回の出席者は、委員14名、事務局2名、陪席出席者3名の計19名でした。今回の主な議題は、12月に開催される運営委員会に向けての議事確認とシンポジウムに向けての準備状況の確認でした。

アジェンダは、以下のとおりでした。

《アジェンダ》

1. 前回議事録確認
2. 第17回産応協シンポジウムについて
3. SCA2026について
4. HPCロードマップWG活動状況
5. 施策提言WG活動状況
6. 広報活動状況
7. コミュニティ活動状況
8. HPCIコンソーシアム活動状況
9. 関連団体からのイベント協力要請について
10. その他、今後の予定(日程調整含む)

施策提言WG次期フラッグシップへの期待SWGの開催

11月8日(金)に施策提言WG次期フラッグシップへの期待SWGがWebEXによるリモートで開催されました。当日の出席者は、委員9名、事務局2名、陪席1名の計12名でした。今回のSWGでは、HPCIコンソーシアムが6月に発表した「次世代計算基盤を利用した成果の最大化に向けて」という提言内容とユーザサイドの意見を擦り合わせるが主な目的でした。ユーザビリティ向上においては、コンソーシアムの提言に出てくる「シームレス化」の考え方の整理、更にエコシステムについての考え方の整理が必要で、今回はこの2点について話し合われました。

HPCものづくりワークショップの開催

11月13日(水)に第17回HPCものづくりワークショップが東京大学生産技術研究所の施設をお借りして開催されました。当日は指導教授として、東京大学生産技術研究所の長谷川先生と豊橋技術科学大学の飯田先生をお迎えして、ファシリテータ2名(技術編、運用編各1名)、プレゼンター4名(技術編、運用編各2名)、ディスカッション参加者8名、事務局2名で「サロゲートモデル×CAE」をテーマに開催されました。両教授よりテーマに基づく研究状況をご説明頂いた後、プレゼンターより現在直面している課題等を発表。それに基づき先生を交えての議論が行われました。産学で共通テーマで議論する機会は、なかなか貴重な経験で、アカデミア、産業界にとって、新しい気付きを生む可能性があります。ワークショップ終了後は、簡単な懇親会も開催され、先生と忌憚ない意見交換ができ、収穫の多いワークショップだったと

思います。今後はこうした産学共同のワークショップを活性化していきたいと考えております。
(今回は内容的に一般公開せずに参加者は会員企業限定といたしました)

2024年度第1回産応協スクールの開催

11月15日（金）に2024年度第1回産応協スクールがWebEXによるリモートで開催されました。今回のテーマは、「説明可能なAIへのアプローチ：ベイジアンネットワーク入門」で、XAIの基礎から応用までを包括的に学ぶことを目的に、ノーコードのデータ分析プラットフォームAlkanoを使用したハンズオンを取り入れたスクール形式で開催されました。担当講師は、株式会社NTTデータ数理システム データマイニング部主任研究員武藤雅基氏で、受講者は21名でした。今回も講師の方のご協力により、前もって参加者にテキストを配布する事が出来、その結果演習もスムーズに進んだと思います。参加者から寄せられた受講後のアンケート結果を見ても、皆さんに満足を取ったようです。

2024年度第6回主査会の開催

11月19日（火）に2024年度第6回主査会がWebEXによるリモートで開催されました。当日の出席者は、委員7名、事務局2名の計9名でした。今回の主査会は、広報WGが実施した産応協の活動活性化に向けた運営委員へのアンケート結果の情報共有、12月開催のシンポジウムの準備情報の共有、12月の運営委員会で審議される規約の改訂（案）についてでした。アンケートから分かったことは、従来の中期計画に新たに追加すべきキーワードは、「サステナブル」「カーボンニュートラル」「サーキュラーエコノミー」等で、関心の高い技術としては、「量子」「AI」でした。今後の中期事業計画に活かすと共に、広報活動のキーワードとしてもすすめていきたいと考えます。

HPCものづくりワークショップWGの開催

11月26日（火）にHPCものづくりワークショップWGがWebEXによるリモートで開催されました。当日の出席者は、委員3名、事務局2名の計5名でした。今回のWGでは、13日に開催されたワークショップの振り返りと、次回以降の進め方について話し合いが持たれました。その結果、今回ワークショップに参加された方々にアンケート調査を実施し、その結果を踏まえた上で、東京大学の長谷川先生に次回以降の進め方について相談することとなりました。

施策提言WGエコシステム検討SWGの開催

11月26日（火）に施策提言WGエコシステム検討SWGがWebEXによるリモートで開催されました。当日の出席者は、委員6名、事務局2名の計8名でした。今回のSWGでは、エコシステムの定義について意見交換が行われました。それぞれの思惑が一致しないと、エコシステム支援に対する文部科学省への提言も異なってしまいます。例えばエコシステムの範囲としては研究開発までを考えるのか、それともプロダクションランまで含めて検討するのか、によっても大きな違いが出てきます。ユーザ側の立場に立って、エコシステムを展開するに当たり、どのような仕組みを期待して、またそれを実現するに当たり、どのような支援を国に求めるのかを今

後しっかりと議論して提言に結び付けたいと思います。

第77回企画委員会の開催

11月28日（木）に第77回企画委員会がWebEXによるリモートで開催されました。当日の出席者は、委員12名、事務局2名、陪席3名、ゲスト（R-CCS）3名の計20名でした。今回の企画委員会では、冒頭にゲストのR-CCS（理化学研究所計算科学研究センター）よりSupercomputingAsia2026開催に向けての協力要請について説明を受けました。産応協としては、内容を吟味した上で、協力できる部分については、協力していく所存です。その後、通常の企画委員会に入り、運営委員会の資料確認、シンポジウムで企画委員長が報告する活動状況の資料確認を行いました。当日のアジェンダは、以下のとおりです。

《アジェンダ》

1. SCA2026について
2. 前回議事録確認
3. 2025年度体制について
4. 2024年度予算状況
5. 規約等の見直しについて
6. HPC技術ロードマップ状況
7. 施策提言状況
8. 広報活動状況
9. コミュニティ活動状況
10. HPCIコンソーシアム状況
11. 第17回産応協シンポジウムでの産応協活動報告
12. その他
13. 今後の予定（日程調整含む）

以 上

【スーパーコンピューティング技術産業応用協議会（産応協）事務局】

住所：東京都港区虎ノ門1-10-5 KDX虎ノ門第一ビル 6階

電話：080-6906-5461 E-Mail：icscp_office@icscp.jp

担当：中川，滝口

《新規産応協会員募集について》

産応協では、新規会員を随時募集しております。

会員種別には、正会員，準会員，登録会員の三種類を設けております。

関心をお持ちの方は、以下URL若しくはQRコードより詳細をご確認のうえ、申請頂きたくよろしくお願ひ申し上げます。

<http://www.icscp.jp/admission/>

